



●**斑点米カメムシ類発生注意** 今年の薬剤防除は2回を基本にお願いします!!

本年も斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ・アカヒゲホソミドリカスミカメ）の発生が多く、特にイネ科雑草が出穂している畦畔や休耕田などの雑草地、ほ場内にノビエやホタルイが残っているほ場ではすくい取り頭数が多くなっています。

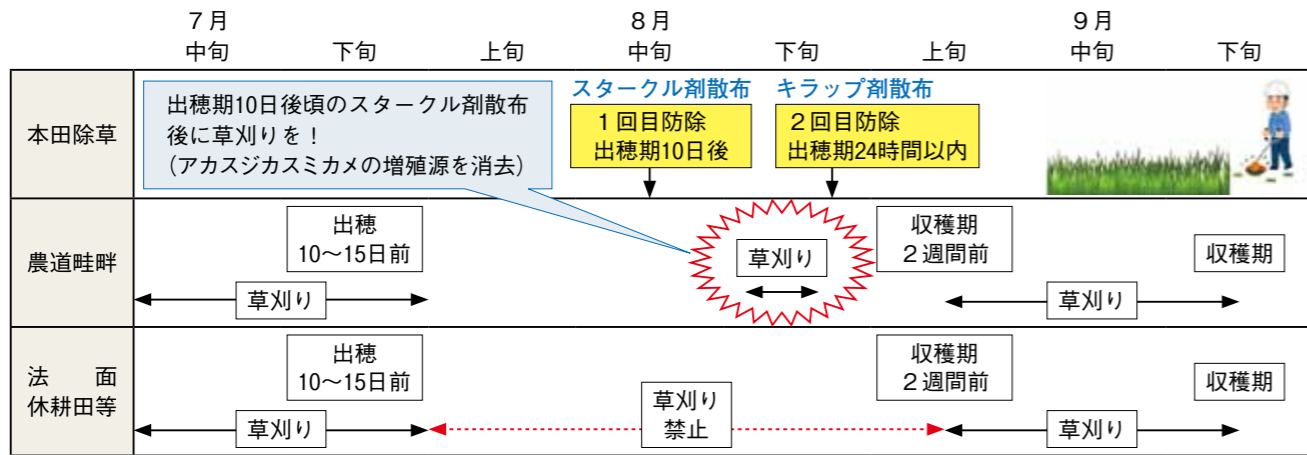
また、高温下での登熟となり「割れ粉（ふ割れ）」によるカメムシ被害が心配されます。ほ場内・畦畔の除草と薬剤防除を組み合わせ、斑点米発生を抑えましょう。

●**主なカメムシの特徴と防除概要**

 <p>アカスジカスミカメ</p>	<p>体長：成虫で4.6～6mm程度 特徴：ノビエ、ホタルイ等 カヤツリグサ科の穂に産卵する。イネにはほとんど産卵しない。</p>	 <p>アカヒゲホソミドリカスミカメ</p>	<p>体長：成虫で5～6mm 特徴：イネ科雑草やイネの葉鞘内に産卵し増殖する。イネの出穂を契機に飛来侵入する。</p>
--	---	--	---

～耕種防除～

- 1 農道・畦畔の草刈りは出穂10日前までに実施しましょう。8月には出穂期10日後頃の茎葉散布剤の散布後に畦畔や農道の草刈りを実施し、アカスジカスミカメの増殖源となるイネ科雑草の除去に努めます。その後、イネの収穫2週間前まで草刈りを行いません。
- 2 法面や休耕田などで茎葉散布剤を使用しない雑草地は、イネの出穂10日前までに草刈りを実施し、その後収穫2週間前までは草刈りを行いません。



～薬剤防除～

通常の防除は出穂期10日後頃の一回散布を基本としますが、水田にノビエやホタルイが発生しているほ場や牧草地、休耕田が隣接したほ場、畦畔・農道に雑草の刈り残しがあるほ場ではカメムシのすみかとなり1回の防除では防ぐのが難しいため、出穂期10日後頃と出穂期24日後頃の2回散布を基本としましょう。

散布時期	薬剤名	希釈倍率／散布量 (10aあたり)	適正使用基準	
			使用時期	使用回数
出穂期10日後頃	スタークル粉剤DL	3kg	収穫7日前まで	3回以内
	スタークル液剤10	1,000倍／60～150ℓ		
追加防除 出穂期24日後頃	キラップ粉剤DL	3～4kg	収穫14日前まで	2回以内
	キラップフロアブル	1,000～2,000倍／60～200ℓ		

水管理で登熟向上
 出穂後は水管理・いもち・カメムシ対策を徹底しましょう。

これからイネは出穂期を迎えます。今年は5月20日以前に田植えされた圃場では出穂を迎えており、5月25日頃田植えの圃場は、平年並の出穂と予想されます。高温下での出穂となり、水管理で品質低下を防ぎます。

●**水稻定点生育調査結果** (7月25日現在 あきたこまち)

(仙北地域振興局農林部農業振興普及課)

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	S P A D 葉緑素
本年値	75.4	447	12.0	38.4
平年値	73.9	474	12.0	38.2
平年比	102%	94%	0	101%
前年値	74.3	481	11.9	40.6
前年比	101%	93%	0.1	95%

○**生育調査状況**

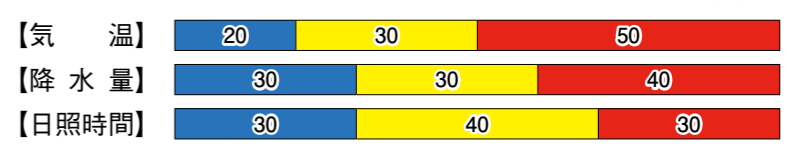
7月25日現在のあきたこまちの草丈は75.4cmで平年並、茎数は447本/m²で少なく（平年比94%）、葉数は12.0葉で平年並、葉色は38.4で平年並となっています。田植え日による圃場間差が大きく、出穂期にあわせた適切な水管理が求められます。

●**今後の天気** (仙台管区气象台)

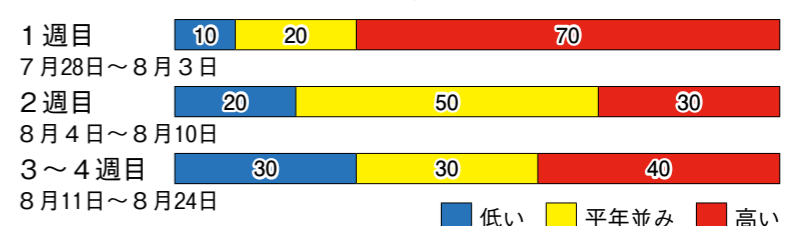
＜むこう1ヵ月の見通し＞ 平成30年7月26日発表

- ・期間の前半は気温のかなり高い状態が続く見込みです。
- ・日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・1ヵ月を通して、晴れる日が多く気温も高い日が多いでしょう。

＜向こう1ヵ月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



＜気温経過の各階級の確率(%)＞



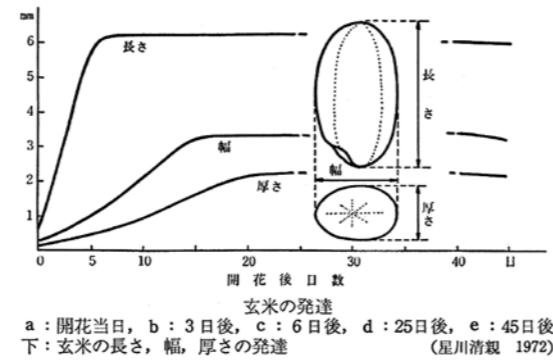
※こまめに水分をとり、熱中症に注意しましょう!

NOSAIから **園芸施設共済** **台風シーズン到来!今すぐご加入を!**

注意 台風の進路が発表されたときなどの参考)4間×10間のハウス
 掛け込み加入はできません。 **32万1千円の補償金額**
 掛金は**6,097円(12ヶ月)**です

●出穂期からの水管理

- ① 出穂当初は水を多く必要とする時期なので、出穂後10日間は5～6cm程度の水深で湛水します。その後は2～3cmの浅水、間断かん水を行いイネを登熟させていきます。
- ② フェーンなど乾燥した風が強く吹送する場合は、根からの吸水量より葉からの蒸散が多くなり、葉先枯れや株元の枯上りが進み登熟不良を招きますので、事前に予想される場合は早めに湛水にし、登熟障害を回避します。
- ③ 落水の時期は、概ね出穂後30日とします。早期に落水すると葉色の低下、枯上り、根の機能減退により収量、品質、食味が低下する場合がありますので、用水の有無にも関係しますが、収穫に支障のない程度まで落水は遅くします（溝切跡に水を流すことも有効です）。



●水不足時の対応 ～地域で協力し合い節水を心がけましょう。～

- ① 用水不足が懸念される場合は、地域農家や関係機関と協力して節水管理に努め、入水時間を申し合わせるなど、計画的な供給に努めます。
- ② 溝切を実施したほ場では、溝に注水するだけでも効果は期待されます。その他ほ場でも、間断かん水で、土壌水分を一定に保ちましょう。

●白未熟粒・胴割れ対策

気象庁より出された1カ月予報では8月は気温が高く、高温登熟になることが予想されており、白未熟粒の発生が心配されます。

気温が30℃以上になる日は、流水量により、かけ流しや水の入れ替えにより、地温を下げ、根の活力低下を防止しましょう。

○高温登熟被害粒の発生要因と技術対策

項目		気象的要因	栽培的要因	技術対策
白未熟粒	乳白 心白	出穂後4～20日頃の高温	籾数過多	籾数制御 水の入れ替えによる地温の低下
	背白 腹白	出穂後16～24日頃の高温	登熟後半の肥切れ	穂肥 水の入れ替えによる地温の低下
充実度不足粒		登熟期間の高温	登熟期の肥切れ	穂肥 水の入れ替えによる地温の低下
胴割れ粒		出穂10日間の高温	登熟期の肥切れ 早期落水 刈り遅れ・過乾燥	穂肥 水の入れ替えによる地温の低下 適期刈取・二段乾燥

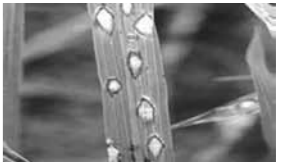
●穂いもち病対策 ～天候によっては激発の恐れあり～

今年はいもち病感染に好適な日が多く、葉いもちに感染しているほ場やズリコミ症状がみられるほ場もあります。

葉いもちが多発しているほ場では、穂いもちに感染する可能性が非常に高くなるため穂いもち防除が必要になります。

葉いもちの発生が一切認められず、周辺の発生田からの伝染の影響のないほ場では、防除の必要はありません。ただし葉いもちが多発しているほ場が隣接している場合などは、出穂期～7日後にラブサイド剤の茎葉散布を行って下さい。

また葉いもちの発生が認められるほ場では、出穂直前と穂揃期にラブサイド剤または、ビーム剤の茎葉散布を行います。



葉いもちに感染したイネ



穂いもちに感染したイネ

○防除方法

散布のポイント	薬 剤 名	希釈倍率／散布量 (10aあたり)	適正使用基準	
			使用時期	使用回数
予 防 剤 と 治療剤の混合剤	ブラシン粉剤DL	3～4kg	収穫7日前まで	2回以内
	ブラシンフロアブル	1,000倍／60～150ℓ		
出穂直前と 穂揃期の2回	ラブサイド粉剤DL	3～4kg		3回以内
	ビーム剤粉剤DL			
※多発時は傾穂期に 追加防除	ラブサイドフロアブル	1,000～1,500倍／60～150ℓ		
	ビームゾル	1,000倍		

※フサライドの本田での使用回数は3回以内なので注意する。

(フサライドはラブサイド剤、ブラシン剤に含まれる成分です。総使用回数に注意してください。)

ビームゾルは傾穂期以降に散布すると薬害を生じることがあるため注意が必要です。

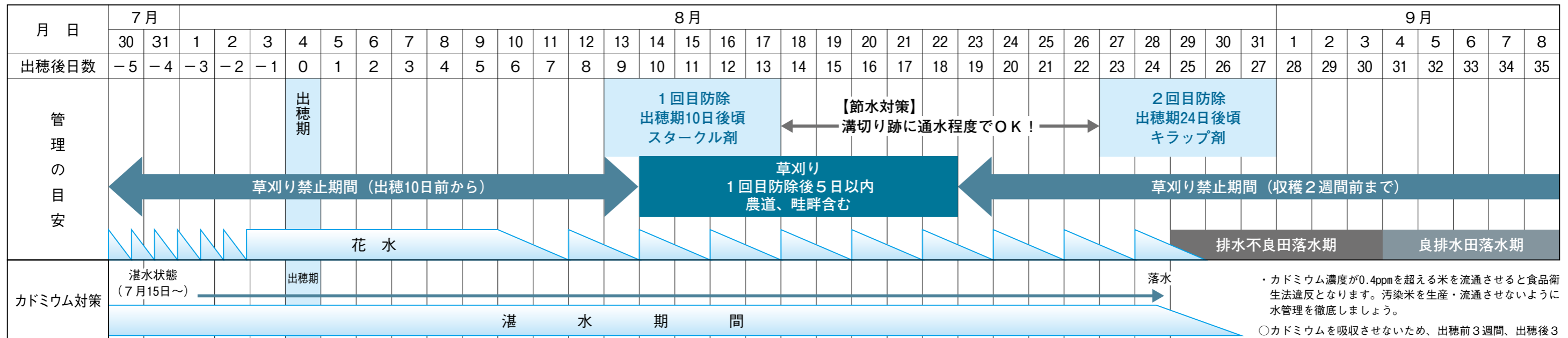
●紋 枯 病

昨年多発したほ場や、出穂後高温多湿な年は病斑が上昇しやすくなります。出穂期の発病株数が15%を超える場合は減収になりますので防除を行いましょう。

散布時期	薬 剤 名	剤 型				散布量・希釈倍率	備 考
		粉	液	水	フ		
出穂直前 ～穂揃期	バリダシン	○	○			粉・DL 3～4kg／10a	出穂直前の防除に重点をおき多発が予想される場合は出穂期以降にも散布する
	モンカット	○		○	○	液剤・水和剤 1,000倍	
	モンセレン	○			○	フロアブル 1,500倍	

●カドミウム対策

カドミウムをイネに吸収させないため、出穂前3週間・出穂後3週間の計6週間は常時湛水管理を行い、田面が空気に触れないように管理してください。(カドミウムは土壌中の酸素が少ない状態になると、土壌中の硫黄と結合し水に溶けにくくなります。このためイネに吸収されにくくなります。)



・カドミウム濃度が0.4ppmを超える米を流通させると食品衛生法違反となります。汚染米を生産・流通させないように水管理を徹底しましょう。

○カドミウムを吸収させないため、出穂前3週間、出穂後3週間の計6週間は常時湛水管理を行い、田面が空気に触れないよう管理してください。(田面が露出すると土壌が酸化し、カドミウムが吸収されやすくなります。)